

天文二十年二月十二日 △信玄出家僧體トナル

同時ニ家臣原美濃・清岩、小幡山城―日意、山本勘助―道鬼ト號シ入道ス

△他ニ長坂左衛門長閑ト稱シ眞田彈正一德齋ト稱ス

天文二十年

△三月、四、五月、八、九、十月ニ亘リ伊奈、木曾、松本方面ヲ攻略

△(馬場三十八歳) 甘利(十八歳) 共ニ功名

同二十一年

時田合戦(地藏峠ノ戦)(長尾義景) 小山田(古) 備中戦死

栗原左衛門、小山田左兵衛負傷後死ス

同年

△法福寺合戦 此ノ役板垣彌二郎出馬セズ、能狂言ニ與ジ同心、與力共ニ召シ上ゲラル

△春日源五郎、彈正ト改メ百五十騎ヲ預ル

△飯富源四郎、三郎兵衛ヲ名乗リ百五十騎ノ將トナル

天文二十二年五月 △信州桔梗ヶ原ノ合戦(小笠原勢)

甘利左衛門、飯富三郎兵衛、馬場民部、春日彈正、内藤修理等小笠原勢先方

362

三千ヲ破ル(六日)

△七日、長時著到、四千五百ノ軍勢ヲ布陣

△甘利左衛門功名高シ

△和議長時武田氏ニ歸屬スルヲ欲セズ越後ニ去ル

△小笠原氏没落、日向大和守、深志ノ守將ヲ命ゼラル

同年八月

△海津城築城、小山田(後) 備中守將トナル

△同十月春日彈正小諸ノ城代トナル

天文二十二年十二月二日

△浄土宗ト日蓮宗ト法論有リ、原美濃入道、武田家ノ法度ニ逆

キ法華寺ニ見舞ヒ、成敗サル可キ所、大剛ノ士デ有リ度々ノ戦ヒニ忠節アル

ヲ以テ馬場、内藤、飯富(三)等信玄ニ願ヒ助命ノ上、一時小田原ノ北條氏

康ニ預ク、氏康弓矢ノ智識ヲ得タリト喜ブ

天文二十三年二月

△今川義元加勢ノ爲信玄駿河大宮ニ出馬、北條氏康ノ軍ト對陣

△馬場民部、小幡山城、同又兵衛等功名

△此役原美濃北條家ニ有リ、小山田彌三郎軍ト競合中、近藤ト云フ剛士ニ名乗

363

掛ケラレ峰討ニテ倒ス、北條勢其ノ首ヲ得ントセルニ美濃入道助命ヲ乞フ、
敵味方此レヲ賞讃ス、弘治二年和議ノ後信玄、氏康ニ原ヲ所望シ、原美濃三
月甲府歸參

天文二十三年六月十日 △謙信一萬三千ノ軍勢ヲ率ヒテ川中島ヘ出陣

馬場民部三百五十騎斗リニテ此レニ對峙少シモ手ヲ付ケサセズ謙信歸國

△同月十二日ニ再ビ謙信出馬ノ通告有リシモ馬場民部ノ武功ニヨリ謙信ト通ジ
タル信州先方衆四人ノ裏切露見シ謙信出馬セズ歸國ス

天文二十四年三月 △木曾義昌ヲ降ス

甘利左衛門先陣（二十二歳）

△同年十月改元、弘治元年トナル

弘治二年三月 △川中島對陣（謙信）

四月中約一ヶ月間、五月初謙信歸國

△同六月、甲州軍伊奈ヘ出陣

同 十月 △秋山伯耆守、伊奈ノ郡代ニ任ゼラレ、高遠城ニ居住二百五十騎ヲ預ケラル

△飯富三郎兵衛相備トアリテ五百騎ヲ預ケラル

△海津ノ守將小山田備中尼師ノ城主トナリ、小諸ノ守將

春日彈正、海津ノ守將ヲ命ゼラル、介添トシテ足輕大將小幡山城、同又兵衛
ヲ差シ添ヘ四百五十騎ヲ預ケラレ、高坂彈正ト稱ス

弘治三年四月 △上州三日尻合戰（長野業正）

太郎義信ヲ大將トシ、甘利左衛門先陣トナリ、飯富三郎兵衛、馬場民部、内
藤修理、原隼人、諸角豊後、小宮山丹後、飯富兵部等之ニ從フ

△同十二日謙信川中島ヘ出馬、五月末日迄約五十日間對峙

永祿元年二月 △謙信ヨリ和議ノ申入レアリ、五月十五日ヲ期シ立テ川ヲ隔テ信玄ト對面
和議ノ諸禮ヲ行フ可ク、謙信馬ヨリ降り、信玄馬上ニテ挨拶ヲ爲シタルニ謙
信怒ツテ和議不調其儘七十餘日對陣、謙信歸國

永祿二年二月 △馬場民部百二十騎ノ侍大將トナル

三月 △謙信出馬、川中島ニ對陣

六月 △信玄、松本迄出馬

永祿十年九月 △上州既橋城ニ謙信アリ、武田北條勢謙信ト對陣

十一月 △武田信勝生ル

△信玄、信勝ヲ世嗣ト定メ勝頼ヲ後見トス

△馬場、山縣、内藤及土屋平八郎、真田喜兵衛、吉田左近等使者トシテ伊奈ニ發向

永祿十二年二月 △太郎義信ノ館ヲ壞シ跡ニ毘沙門堂ヲ建立ス

△小幡尾張守(子息)、上總介ヲ名乗ル

十二月 △信玄駿河ニ發向今川勢ヲ破ル

先手、山縣、馬場、小山田(彌)小幡上總、真田兄弟、内藤等

△興津横山ニ城ヲ築キ穴山梅雪ヲ城代トス

△久能山ニモ普請シ、今福淨閑ヲ守將トス

永祿十二年正月 △薩埵山八幡平ニ於テ北條勢ト對陣

△跡部大炊介三百騎ニテ北條軍松田勢ニ破ラレ、馬場美濃守信玄ノ命ニ依ツテ之ト替リ僅カ百騎ヲ以テ松田勢二千五百ヲ追崩ス

六月 △武田軍駿河ニ侵入

七月 △小田原攻撃ノ評定、高坂彈正反對セルモ信玄用ヒズ

十月 △信玄長驅小田原ヲ圍ム

馬場美濃小田原陣ヲ心痛シ五十騎ヲ率ヒ從陣シ智略松田邸ヲ燒討ツ

△八日、陣ヲ返シテ相州三増峠ニ北條關東勢ヲ破ル

△真田昌幸一番槍ノ武功ヲ表ス、淺利式部鐵砲ニ射タレ戰死

同年 十一月 △甲駿豆塚ニ出馬

勝頼武勇ヲ奮フ

十二月 △駿州蒲原城、深澤城攻撃

北條左衛門太夫黃八幡ノ旗ヲ捨テ置ク、信玄家人ノ笑フヲ諷メ、之ヲ真田彈

正ノ末子信尹ニ與フ

永祿十二年正月 △元龜元年トナル

△駿州花澤城ヲ攻略

三枝勘解由一番槍、真田昌幸、曾根内匠二番槍ノ功名

同年 十月 △信玄愈々西上ノ軍ヲ催ス可ク跡部大炊介、原隼人佐名ヲ以テ備書十八ヶ條ヲ分國ニ廻ス

同年 十一月 △信長、信玄ノ歡心ヲ求メ漆ヲ所望シ來ル、高坂彈正ノ意見ニヨリ甲斐ノ國漆ヲ三千杯勘定奉行青沼助兵衛藏ヨリ出シテ渡ス

元龜三年正月 △信玄、信長ノ暴舉ニ慮リ叡山ヲ甲斐國身延ニ遷サントシ、身延ノ信州移

轉ヲ以テ此レヲ諮リシモ、身延ニテ祖師日蓮ノ御告ゲノ故ヲ以テ承引ナシ

△此年信州ニテ關山派ノ僧殺害アリ、刺客馬ヨリ落チテ狂死ス

△一説ニ信玄佛罰ニテ翌年四月十二日他界スト

同年閏正月 △家康進軍大井川ヲ渡河セルモ引返ス

同 四月 △謙信一萬餘ノ軍勢ヲ率ヒ川中島ニ出馬、伊奈ノ郡代四郎勝頼千騎斗リニテ

駆付ケ對陣、謙信其ノ武勇ヲ賞シ引取ル

△同年夏

遠州出陣ノ軍評定

遠三ノ繪圖ヲ以テ左ノ通り備ヲ定ム先方七手山縣、内藤、小山田(兵)小幡

(上) 眞田(源) 高坂、馬場

二ノ手勝頼、典厩、武田左衛門佐、穴山、土屋、望月、跡部

脇陣右小山田(後) 備中、小宮山丹後、栗原左兵衛、今福丹波、左。原隼人

相木市兵衛、安中左近、駒井右京

後、逍遙軒、一條右衛門、海野、仁科

旗本組、市川宮内、小山田大學、下曾根、長坂長閑、室賀入道、三枝勘解由

眞田喜兵衛、曾根内匠、武田兵庫

小荷駄、甘利衆

同年 十月 △山縣昌景伊奈ヨリ先發

△中旬、信玄甲府ヲ發向、遠州飯田、たゝら兩城攻略

△久能、三かの川ニテ徳川軍ト衝突シテ此レヲ破ル、本田平八郎忠勝(二十五

歳) 殿軍シテ武名ヲ表ス

△信玄近習小松右近助

「家康に過ぎたる物は二つある

唐の頭に本田平八

ト詠ミテ見付坂ニ立ツ

△進ンデ二侯城ヲ攻略、芦田下野ヲ差シ置ク、此役勝頼武勇ヲ奮フ

同年十一月二十五日 △遠州三方ヶ原ニ進軍

徳川家康ヲ破リ勝頼武功ヲ奏ス

△穴山梅雪麾下ノ有泉大學、保坂常陸弟掃部等武勳ヲ立ツ

△進ンデ濱松ヲ攻ム可キ處高坂彈正ノ諫メニ從ヒ軍ヲ返シ、遠州刑部ニテ越年

濱松表引上ゲハ高坂彈正殿軍ナリ

天文元年正月七日 △刑部發向、同十一日三河野田城ヲ攻略

△同二月十六日信玄病ンデ野田城ニ馬ヲ入ル、家康、信長ノ家中衆信玄野田城

攻撃ノ際鐵砲ニ當リテ死スト取沙汰ス

同年二月下旬 △美濃岩村殿後家（信長伯母）

織田掃部ノ肝煎ヲ以テ信州伊奈、秋山伯耆守内方ニ祝言アリ

同 三月九日 △信玄煩ヒ快方ニ在リ、伊勢公方御所ヨリ上洛ヲ待ツ旨ノ使者有リ

同 三月十五日 △岩村城攻略

馬場美濃守八百餘ノ手勢ニテ信長後詰ノ一萬餘ノ大軍ヲ蹴散ラス

△秋山伯耆守岩村城ノ守將ヲ命ゼラル

同 四月十一日 △信玄病勢惡化

同 十二日 △三州美濃、信濃三ヶ國ノ間ねはねの上村ト云フ處ニテ諸將ヲ召シ、三

ヶ年間死ヲ祕ス事其他ヲ遺言シ、山縣昌景ヲ呼ビ

「明日は其方の旗をば瀬田に立て候へ」ト云ヒ

「大底還ニ他肌骨好、不レ塗テ紅粉ニ自風流」

ト喝破シ遂ニ逝ク年五十三。

△續武田二十四將年表

……勝頼時代（甲陽軍鑑春日惣二郎記に據る）

天正元年五月 △勝頼仕置ヲ行フ

六月 △武田軍東美濃へ發向

九月 △郡内ノ安藏主諏訪明神ニ勝頼ノ武運長久ヲ祈ル爲參詣九十日、七十一日
目ニ左ノ靈夢ヲ見ル

（諏訪明神たゆる武田の子とむまれ代をつぎてこそ家をうしなへ）

同 九月 △勝頼遠州へ出馬

天正二年二月 △勝頼東美濃へ發向十八ヶ城ヲ陷ル、山縣昌景六千ノ手勢ヲ率ヒ信長後詰
六萬餘ノ大軍ヲ追ヒ撃ツ

同 年五月 △勝頼高天神城攻略

378

歸陣後甲府ニ於テ祝宴ヲ催ス高坂彈正、内藤修理兩將、此レヲ武田家滅亡ノ
宴ナリト稱ス

長坂長閑、跡部大炊等ト宿將ノ仲愈々惡クナル

同 年九月 △勝頼濱松表へ發向

徳川軍ト對陣、山縣同心廣瀬剛左衛門武士道精神ヲ宣揚

…勝頼伊奈ニ歸陣祖父信虎ト對面信虎甲府退去後實ニ三十七年目ナリ時ニ八十
一歳

信虎ノ無暴尙納ラズ、勝頼信虎ヲ伊奈ニ止メ甲府ニ歸陣、信虎伊奈ニテ卒ス

379

天正三年四月 △信玄ヲ惠林寺ニ葬ル

導師快川和尚表主信勝ナリ

△後勝頼諏訪明神ニ社參セルニ龜甲ノ槍折レ、橋落ツル等ノ不吉有リ

同 五月 △勝頼遠州ニ出馬長條城ヲ攻圍

△五月二十一日、設樂ヶ原ノ決戦

武田勢布陣

左翼、馬場美濃、眞田源太左衛門、同兵部、土屋右衛門、一條右衛門太夫、穴山

右翼、山縣三郎兵衛、小笠原掃部、小山田兵衛、跡部大炊、甘利三郎四郎、小幡兄弟、典厩(後)等

中、内藤修理、原隼人、安中左近、和田左衛門、逍遙軒等

本陣、勝頼、旗本前望月後備、武田左衛門

浪人組、武田兵庫信實、三枝勘解由、飯尾彌四衛門、五味與三兵衛、細無利之介

長篠城押、高坂源五郎、小山田備中、室賀入道、相木市兵衛

△山縣先戰死、眞田兄弟、土屋右衛門(三十一歳)馬場美濃(六十二歳)内藤原隼人、望月、安中、三枝勘解由、足輕大將、横田十郎兵衛等討死

△勝頼ニ從フハ初鹿野傳右衛門(三二)土尾惣藏(二十歳)笠井肥後等ノミナリ

△典厩、穴山追合ナク引ク、甲府歸陣ノ後高坂彈正、兩者ノ切腹ヲ勝頼ニ進言

セルモ勝頼用ヒズ

同 年九月 △遠州小山城後詰ノ爲勝頼出陣

同 十二月 △濃州岩村城落去、秋山伯耆守謀ラレテ捕リ後殺サル

天正四年正月 △高天神後詰、眞田昌幸獨リ鹽買坂ヲ越ス

天正五年 △勝頼北條氏ト和シ其ノ妹ヲ娶ル高坂彈正、長篠合戰以後三年始メテ安眠セリ

△謙信没ス

同 六年 △田中城ノ戰、一條信龍ノ奮戰高坂昌信病死(五月)

同 七年 △高天神守將ノ交替、岡部丹後守、相木昌朝等守將トナル、横田甚五郎ノ智略

同 八年 △勝頼東上野ヲ席捲ス

同 九年 △新府築城十二月二十四日新府移轉

高天城攻撃サレ落城

天正十一年 △高遠城落城、仁科五郎盛信、小山田備中守等戰死

保科彈正飯田城ヲ逃ル